

ベトナムのFDIの動向(2025年7-9月期)



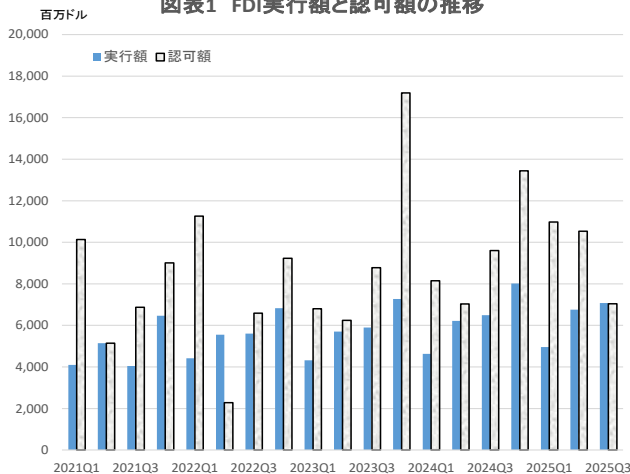
《2025 年 7-9 月期の FDI 認可額（推定値）は前年同期比 26.7%減》

ベトナムの 2025 年 7-9 月期の FDI（Foreign Direct Investment の略で海外資本のベトナム国内への直接投資を意味する）の実行額（推定値、以下同様）は前年同期比 9.0%増の 70.8 億ドルだった。2024 年 1-3 月期以降は 7~10%程度の安定した拡大基調となっている。認可額の動向に比べて落ち着いているが、これは外資系企業が、投資の実行について、経済環境や政治的な不透明感を考慮し、投資を慎重に進めているためと推測される。

実行額の先行指標である認可額は、同 26.7%減の 70.4 億ドルと、2024 年 10-12 月期以来の前年同期比マイナスとなった。1-3 月期が同 34.7%増、4-6 月期が同 49.7%増と高い伸びだったので、その反動で一時的な落ち込みになったとみられる。米国とベトナムの関税交渉が決着したうえ、ベトナムの外資系企業の輸出金額は 7 月が前年同月比 25.9%増、8 月が同 27.5%増、9 月が同 37.5%増と極めて好調に推移しており、ベトナムに進出している外資系企業の設備投資意欲が急に減速する可能性は低いとみるのが妥当だろう。また、このように堅調な輸出実績は、グローバルサプライチェーンにおけるベトナムの高い競争力や優位性を示すものであり、中長期的な FDI の動向を考えるうえでもポジティブな要因と捉えられるだろう。加えて、ベトナム政府が足元で進める飛行場の新設や港湾の整備、高速道路網の整備といったインフラ投資、不動産開発に関する手続きや許認可の簡素化なども、今後の FDI の呼び水になることが期待できる。

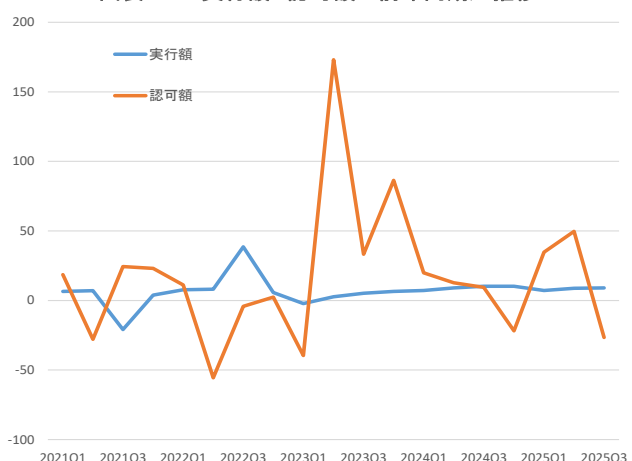
生産活動の好調に加え、グローバルサプライチェーンの中での競争力強化が進み、中長期的な FDI の拡大が展望できる状況だ。しかし、北米や欧州の景気減速はリスク要因である。米国の現政権が実行している関税の大幅な引き上げは、販売価格の上昇による買い控え、粗利益率低下による雇用や賃金の圧縮などを通して米国の消費活動に対していずれマイナスの影響をもたらす可能性が高い。短期的な景気停滞が FDI に影響をもたらすリスクには注意が必要だろう。

図表1 FDI実行額と認可額の推移



注 Q1は1-3月期、Q2は4-6月期、Q3は7-9月期、Q4は10-12月期を表している
出所 各種資料をもとに当社作成

図表2 FDI実行額と認可額の前年同期比推移



注 Q1は1-3月期、Q2は4-6月期、Q3は7-9月期、Q4は10-12月期を表している
出所 各種資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より 180 日

News20251009

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。